

宇都宮市

公式サイト URL <https://www.city.utsunomiya.lg.jp>

■市花 さつき

■市木 いちょう

■市鳥 指定なし

市町類型	1-0	R2年国調人口		518,757 人
財政力指数(R4~R6平均)	0.968	住民基本台帳 (R7.3.31)	人口	510,448 人
職員数(R7.4.1)	3,320 人		世帯数	240,433 世帯
職員 1 人当り人口	156 人	面積(km ²)		416.85

■施政方針

本市においては、人口減少・少子超高齢社会の本格化や、長引く物価高騰、自然災害の増加・激甚化など、本市を取り巻く社会経済環境が絶えず変化し続ける中においても、今を生きる市民はもとより、未来を生きる市民の誰もが、豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」をいち早く築き上げることが必要であると考えている。

このような中、令和7年度については、今後の駅西側へのライトライン延伸に対する期待や、まちなかでの民間による開発意欲が高まっていることから、この好機を生かして、国内外から本市に多くの人や企業を呼び込み、新たな交流や民間からの投資を一層促進するための、大変重要な1年になると捉えている。

このため、「スーパースマートシティ」の具現化・深化を図っていきけるよう、新年度においては、未来への投資を積極的に行い、本市の活力の源となる「人」の持続的な育成と、「NCC」を土台とした「地域共生社会」「地域経済循環社会」「脱炭素社会」の3つの社会の構築に、スピード感を持って取り組んでいく。

こうした取組により、国内屈指の魅力と活力、存在感を備えることで、女性や若者をはじめとしたあらゆる人の活躍を通じた、まちづくりの担い手の増加・定着と、市民活動・事業活動の活発化を促進し、その結果、税収が増えるなど、地域全体の「稼ぐ力」を高め、更に未来への投資へとつなげていくことで、本市の魅力がより一層向上していく好循環を生み出されていくものと考えている。

■重要事業

※予算額は、複数の事業にまたがって実施しているものがあることから重複している。

事業名	予算額(千円)	事業の概要
子育て・教育の未来都市	56,632,841	・小中学校・保育施設等の給食費への支援 ・奨学金制度の充実 ・全天候型子どもの活動の場の充実に向けた検討 ・5歳児を対象とした健康診査の実施 ・中学校武道場への空調設備の導入 ・中学校部活動の活動支援・地域連携・移行の推進
健康・福祉の未来都市	28,356,921	・自治会の高齢者等の負担軽減に係る支援の強化 ・障がい者の介護者・保護者に対する「親なき後」に備えるための講演会等の実施
安全・安心の未来都市	7,981,769	・河川整備などによる総合的な治水・雨水対策の推進 ・女性活躍担当専門員の任用 ・フェムテック製品等の導入・活用に向けた企業向けイベントの開催

		・子宮頸がん検診におけるHPV検査の導入 ・妊娠前後における体調管理のサポート強化
魅力創造・交流の未来都市	1,877,599	・歴史・文化デジタルミュージアムの開設 ・スポーツの新たな価値を創造するための産官学連携による「みや SOIP」の運営支援 ・ブレックスアリーナ宇都宮の改修 ・民間活力を活用した北西部地域体育施設の整備 ・東部地域における屋内プールの基本設計の実施
産業・環境の未来都市	21,742,969	・新たな産業団地の整備に向けた取組の推進 ・脱炭素先行地域における太陽光発電設備・蓄電池の導入の促進 ・「宇都宮市東京オフィス」の運営体制の強化
交通の未来都市	32,254,724	・JR 宇都宮駅西側ライトラインの「軌道輸送高度化実施計画」の策定 ・JR 宇都宮駅西口における駅前広場整備の検討と民間再開発の促進 ・全天候型のスケートパークを備えたアークタウン宇都宮の開園 ・都心環状線の開通 ・(仮称)大谷スマートインターチェンジの工事着手 ・「市内のどこから乗ってもどこまで行っても片道 500 円」制度の導入
各政策の柱を支える行政経営基盤	3,622,350	・有人チャットによるリモート相談窓口の導入 ・行政事務の集約等による業務効率化に向けた調査・検討